

第8回 定例教育委員会議事録		日 時 : 令和4年8月25日(木)	
		場 所 : 菱刈庁舎3階大会議室	
開会、閉会に関する事項		10時00分 開会 10時40分 閉会	
	教育長職務代理者 永野 治 教育委員 久保田悦子 教育委員 長野吉泰	議場 に出 席 した 者の 氏名	教育総務課長 平崎 祐実 学校教育課長 竹下 健一郎 社会教育課長 中村 康雄 文化スポーツ課長 浅山 典久 学校給食センター所長 有馬 洋一郎 書 記 茶園 浩幸 書 記 周防原 朋也
議事日程	別紙のとおり		
審 議 状 況			
<p>(永野教育長職務代理者) 本日は森教育長欠席のため、私が教育長職務代理者として議長を務めさせていただきます。 よろしくお願ひします。 それでは、ただいまから令和4年第8回定例教育委員会を開会します。</p> <p>(茶園係長) 姿勢を正して下さい。一同礼。</p> <p>(永野教育長職務代理者) 「令和4年第7回定例教育委員会議事録の承認」を議題とします。事務局より報告をお願いします。</p> <p>(茶園係長) 令和4年第7回定例教育委員会議事録について報告(別紙「概要報告書」により報告)</p> <p>(永野教育長職務代理者) ただいま事務局より前回の議事録の報告がありました。ご質問等ないでしょうか。</p> <p>(全員) ありません。</p> <p>(永野教育長職務代理者) 報告のとおり、承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(全員) はい。</p> <p>(永野教育長職務代理者) 令和4年第7回定例教育委員会議事録については、承認いたしました。 続きまして、教育長及び委員の報告に移ります。 教育長報告については、お手元の7月25日から8月24日までの教育長諸般の報告をご確認ください。</p> <p>(永野教育長職務代理者) 続きまして、委員の皆様方からのご報告をお願いしたいと思います。まず、久保田委員お願いいたします。</p> <p>(久保田委員)</p>			

はい。7月26日に市の小学校水泳記録会に出席させていただきました。新型コロナウイルス感染症も増えてきており、子ども達もなかなか練習も思うようにいかないようで、50mの市営プールを使っての練習も出来なかったということでしたが、当日練習出来るように運営側の方が色々と配慮をくださり、無事に事故等もなく終えられて良かったと思えました。色々のご尽力いただきありがとうございます。

以上です。

(永野教育長職務代理者)

はい、長野吉泰委員お願いいたします。

(長野吉泰委員)

はい。7月26日、私も市小学校水泳記録会に行ってきました。暑い中、児童の皆さんは練習が出来たことは十分に成果を発揮できたのではと思っています。よく頑張っていたというふうに見えました。新型コロナウイルスで出場できなかった児童も沢山いたようなので、そのことは少し残念に思いました。大会役員の先生方は前日から色々準備をされていたみたいですが、大会運営もしっかりと滞りなく、事故もなく大会が出来たことは非常に良かったと思えます。また熱中症、新型コロナウイルス感染対策等もしっかりなされていたと感じました。

8月2日、市教育講演会（GIGAスクール構想推進セミナー）に参加させていただきました。午前中、指導講師と実践講師の2人の講師の方とオンラインでつないで、プログラミングの講座が行なわれました。集まった先生方もタブレットを使って、まず魚を動かすプログラミング、三角形を書くプログラミング、星を書くプログラミングを実践されました。実践講師の方が実際の授業での手順や、子どもへの考えさせ方の指導をされ、指導講師の方が、実際にこの場面ではどのように教えた方が良いとか、授業の中での教え方を指導されていました。午後は、ネット社会の歩き方情報モラルセミナーが行われました。講師の先生は、藤村裕一先生でテレビにもよく出られる有名な方のような方でした。まずモラルセミナーの前に、これからの教育は自らが問題を発見し解決する能力と、情報活用をする能力の育成が大事であることを話されました。後半部分では、ネット社会の歩き方というウェブ教材の活用について話をされました。この教材は、色々なトラブルの場面を再現してあり、子ども達とこれを見ながら自分達がそういうトラブルになったらどうすればよいか、皆で一緒に考えようという教材とのことでした。最後にカードを使って、SNSなどにあがった何気ない言葉をどう感じるかとか、何気ない写真にどのような危険があるか。例えば場所を特定されてストーカーにあたりするとか、肖像権の侵害などについて考えるワークショップがありました。暑い中、沢山の先生方が長時間真剣に学ばれて、非常に良い教育講演会だったと思えます。

以上です。

(永野教育長職務代理者)

はい、ありがとうございました。

最後に私の方から報告したいと思います。

まず先程久保田委員からありましたように、市の小学校水泳記録会ですが、コロナ禍で練習も出来ない中で、子ども達は本当に一生懸命頑張っていました。この中で新記録も出ましたので驚いたところですが、非常に良いことだと思えました。子ども達が一生懸命泳ぐ姿に感動を覚えたところでした。

8月1日に人権同和教育研修会がございましたけれども、部落同和解放同盟の書記次長の講演でした。私も講演を聞くのが3回目でしたが、堅苦しくない講演で良かったと思えました。最近子ども達を交えて作業をしながらお互いのトーク形式とかキャッチボールをしながらやっているとのこと、子ども達の中で活動をされているということを知って、本当に良いことだと思えました。講演の内容は身近な感じで、また伊佐市内でも子ども達を交えた同じようなことが出来たらと願いながら聞くことでした。

教育委員会とは直接関係はございませんが、8月11日に市地域振興課の主催で、郡山八幡神社で「だれやめ狂言」というのがありました。これを見ていて、伊佐市は非常に芸術文化のレベルが高いと感じるところでした。午前の部と午後の部の2回公演で、午前の部は地元の方を対象にしたもので、午後の

部は一般の方を対象でしたが100名以上の方が来ていらっしやっただと思います。狂言の後には対談形式で郡山などの色々な話がありましたが、非常に分かりやすい内容で、なかなか良かったと思いました。

私の方からは以上でございます。

(永野教育長職務代理者)

次に議事に移りたいと思います。

それでは、報告第15号「令和4年度伊佐市一般会計補正予算（第3号）について」事務局より説明をお願いいたします。

(平崎課長)

はい。資料は、3ページになります。

本件は、伊佐市教育委員会の行政組織等に関する規則第11条第2項の規定により補正予算第3号について市長に意見を申し出ることについて、緊急やむを得ないと認めたので、伊佐市教育委員会の行政組織等に関する規則第24条第1号の規定により、教育長による臨時代理とし、同条2号の規定により報告するものです。

別紙資料2をご覧ください。この補正予算第3号につきましては、8月3日に開催されたました市議会臨時会において可決されている案件でございます。

それでは、(款)10教育費(項)1教育総務費(目)2事務局費(節)10需用費の150万円は、更なる感染症対策のため、市内小・中学校の主に職員室に設置するパーテーション264台を購入するための経費です。

次に(項)6保健体育費(目)3学校給食センター費(節)10需用費(賄材料費)240万円は、学校給食センターの食材価格の上昇に対応するため経費です。

(節)18負担金補助及び交付金(補助金)1,140万円は、子育て世帯に対する経済的支援のため、学校給食費を9月から3月までの7ヶ月間、月額1,000円を減額するための補助に要する経費です。いずれも新型コロナウイルス感染症対応対策関連経費となります。

以上で説明を終わります。

(永野教育長職務代理者)

ただいまの説明につきまして、何かご質問・ご意見等ございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(永野教育長職務代理者)

ご質問・ご意見等ないようですので、議決に入りたいと思います。

報告第15号「令和4年度伊佐市一般会計補正予算（第3号）について」承認される方は、挙手をお願いいたします。

(全員)

はい。

(永野教育長職務代理者)

賛成多数ですので、報告第15号は、承認されました。

次に、付議事件に入ります。

議案第24号「伊佐市学校給食費負担軽減事業補助金交付要綱の制定について」を議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

(平崎課長)

はい。資料は、4ページから6ページになります。

本件は、先ほど報告しました補正予算第3号、コロナ禍における子育て世帯の経済的負担を軽減するため、学校給食費を減額するための補助金を支給することについて、伊佐市教育委員会の行政組織等に関する規則第11条第3項の規定により、議決を求めるものです。

5ページをご覧ください。第1条では趣旨、第2条で補助対象者、補助対象者については学校給食費の徴収は学校長が行っていることから、対象者を学校長とし第2項で学校長は補助金に関する手続きの

すべてを学校給食センター所長に委任して、事務処理を簡素化しています。

第3条では補助金の額を定め、9月から3月まで、児童生徒1人あたり月額1,000円の7か月分、総額7,000円を補助することとしています。

6ページは、第2条第2項の学校長から給食センター所長への委任についての第1号様式を定めてあります。

なお施行日は、本日、令和4年8月25日のとしています。

以上で説明を終わります。

(永野教育長職務代理人)

ただいまの説明につきまして、何かご質問・ご意見等ございませんでしょうか。

教育総務課長、この要綱は、先程の補正予算を執行するための要綱となるのでしょうか。

(平崎課長)

はい、そうなります。

補足説明します。

先程、報告第15号(令和4年度伊佐市一般会計補正予算(第3号))で説明しましたが、賄材料費につきましては、食材が高騰した分を予算で補填し、給食費の値上げを行わないという施策となります。月額1,000円の補助につきましては、物価高騰時における子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることを目的とした施策となります。

(永野教育長職務代理人)

ご質問・ご意見等ないようですので、議決に入りたいと思います。

議案第24号「伊佐市学校給食費負担軽減事業補助金交付要綱の制定について」賛成の方は、挙手をお願いいたします。

(全員)

はい。

(永野教育長職務代理人)

賛成多数ですので、議案第24号は、議決されました。

以上で、準備された議事については終わります。

次に、委員から提出された動議の討論等に入ります。

前もって提出された動議はございませんが、何かございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(永野教育長職務代理人)

ないようですので、以上で討論等を終わります。

その他の件に入ります。

まず、「令和4年度全国学力・学習状況調査」について、学校教育課長報告をお願いします。

(竹下課長)

はい。本年度4月19日に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されましたので、本市の結果について資料に基づきご説明いたします。なお、2枚目以降の資料につきましては、学校ごとの調査結果となっているため、説明後回収させていただきます。

まず初めに、「全国学力・学習状況調査」についてご説明いたします。本調査は義務教育水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、各学校の指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で、平成19年度から行われている調査です。小学校6年生と中学校3年生を対象とし、国語及び算数、数学を調査教科としますが、3年ごとに理科または英語を加え実施されています。今年度は理科が調査教科に加えられています。

1ページをご覧ください。校種別、教科別の平均正答率を示しています。資料上段が小学校、下段が中学校の結果です。上から国語、算数・数学、理科の順に表示してあります。参考資料として、前年度1月に実施した「鹿児島学習定着度調査」結果及び、昨年度の全国学力・学習状況調査の結果を掲載し

ました。小学校国語は、全国比マイナス0.6ポイントであり、おおむね全国と同程度の正答率でしたが、算数は3.2ポイント下回り、逆に理科は3.7ポイント上回る結果でした。中学校は、国語が7.0ポイント、数学が16.4ポイント、理科が9.3ポイントといずれも下回っており、依然として課題が残る結果となっています。これらはいくまで小学校においては14校、中学校2校の平均値であることから、学校ごとの実態を把握が必要であるため、2ページ以降の資料を準備しました。後ほどご説明いたします。昨年度まで年2回実施してきた「学力向上対策担当者研修会」を、今年度は年3回計画実施し、各学校から担当職員に加え、教頭の出席を求め、既に2回終えたところです。加えて、毎回県総合教育センターから講師を招聘し、研修内容の質の向上も図っているところです。

次に2・3ページをご覧ください。小学校の学校別、教科別の平均正答率です。在籍児童数が大きく異なるため単純に学校間比較はできませんが、全ての学校において特に授業力向上を目的とした研修や、家庭と連携した家庭学習の充実を指導してきており、成果を上げている学校が見られています。

4ページは、中学校の学校別、教科別の平均正答率です。まだ目標値には及ばないものの、〇〇中学校が確実に成果を上げてきています。今年から「NEXT STAGE」と言って、これまで各学校が校内で行っていた研究授業に他校からも積極的に参加し、伊佐市立学校教員の授業力を高める研修に取り組んでします。市の研究協力校の実践はもとより、優れた授業力を持った教員の授業を積極的に参観し、伊佐市全体の教員の資質能力の向上に努めて参ります。

以上です。

(永野教育長職務代理者)

学校によってかなり差がありますよね。

(竹下課長)

はい。学校ごとですが、それぞれの学校で学年ごとも年によって、児童生徒の学力によって差が出ます。とはいえ、小学校において県及び全国の6年時の比較をしますが、中学校に進学したときにこれが連続的に低迷している状況は、やはり中学校における学習指導に課題があるのではないかと本課としては捉えておまして、特に中学校の学力向上については、取組を強化しているところです。

(永野教育長職務代理者)

はい、ありがとうございました。

次に、「令和4年度伊佐市社会教育功労者表彰候補者」について、社会教育課長説明をお願いします。

(中村課長)

はい。資料は、別紙になります。令和4年度伊佐市社会教育功労者として7名の被表彰者候補者の推薦が各団体等からありましたのでお知らせいたします。今回、教育委員の皆様のご意見等をいただき、来月の定例教育委員会で被表彰者を正式に決定することとしていますので、よろしく願いいたします。

以上です。

(永野教育長職務代理者)

これについては、何か検討しなければならないということですか。

(中村課長)

はい、各団体から候補者として7名の推薦をいただいておりますが、これらの方々について、またこれらの方々以外にもこの方はどうなのかという方がいらっしゃいましたら、今ここでご意見等をお伺いしたいと思います。いただいたご意見を基に検討したいと思います。

(永野教育長職務代理者)

これは審議ではないので、一意見として発言してよろしいでしょうか。

(中村課長)

はい。

(永野教育長職務代理者)

6番と7番の方々については、市表彰より上位の賞を既に受賞されているのではないのでしょうか。教育関係分野以外の表彰であれば分かりますが、今回伊佐市社会教育関係功労者として表彰するのはど

うなのかと思うのですが。

(中村課長)

はい、ありがとうございました。

ただ今のご意見を参考にしまして、再度検討したいと思います。なお、次回の定例教育委員会で決定していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

(永野教育長職務代理者)

はい。私の方から一つございます。

先般、安倍元首相の国葬の関係で国旗の半旗掲揚の記事が新聞に出ていましたが、学校現場における対応について、国・県から何か情報が届いているのでしょうか。

(竹下課長)

はい。安倍元首相の死去に伴う半旗についての通知・依頼文は伊佐市教育委員会には来ておりません。このことから、本市教育委員会から各学校へのこの件に対しての依頼等は一切行っていないところでございます。

以上です。

(永野教育長職務代理者)

新聞に出たということは、保護者、PTAは注視していると思うのですが、現場において混乱を招かないように対処は考えておかなければならないと思いました。

その他皆様方から何かございませんでしょうか。

(全員)

ありません。

(永野教育長職務代理者)

では、特にないようですので、これもちまして、令和4年第8回定例教育委員会を閉会いたします。

(茶園係長)

姿勢を正して下さい。一同礼。